

## 令和 2 年度防府市図書館サービス振興基本計画実施状況の委員評価

記号の見方：●課題、○評価、◇要望、◎質問 ※その他

1. 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館	2. 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館	3. 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館
<p>●オンライン閲覧目録等の活用に対応できない高齢者等への情報提供方法の検討。</p> <p>●ホームページ、図書館だよりなどの利便性の向上。</p> <p>○コロナ禍下ではあったが、質・量ともに充実した資料と機能をもつ図書館となるため、資料収集業務、目録整備業務、書架管理蔵書点検業務、資料提供業務において、可能な範囲で適切に運営されていた。</p> <p>○計画通りに図書購入が行われ、蔵書が充実していることを評価する。</p> <p>○かつて経験したことのないコロナ禍にあって、新たにオンライン閲覧目録の提供等、とても適切な対応だと思う。</p> <p>○郷土関係の図書購入が目標をこえていて評価できる。【4とも関連】</p> <p>○臨時休館中に全開架資料の蔵書点検を実施されたこと、加えて閉架資料（和書）の蔵書点検を実施されたことも、十分に評価に値する。</p> <p>○臨時休館により前年度より利用者数等が減少したが、コロナ禍の中、予約資料の貸出や予約・リクエストの受付等を実施したことは評価できる。</p> <p>○返却期限日のお知らせが工夫されていた。（開館日・振替休日）</p> <p>○「防府市メールサービス」・防府市文化振興財団広報「メールマガジン」へ随時記事を掲載し、これまで以上に、情報発信していた。</p> <p>○移動図書館の運行业務については、評価できる。職員の丁寧な対応や、コースやステーションの見直しやそれぞれの地域の実情を踏まえた臨時サービスが実施されており、努力の積み重ねが利用拡大につながっていると思う。</p> <p>○コロナ感染防止の対応に取組み、臨時休館中の閉架書庫整理・こども図書コーナーの新しいコーナー設置と努力があった。</p> <p>○雑誌コーナーやブラウジングコーナーなどの椅子やソファの張り替えは評価できる。</p> <p>◇コロナ禍において、書籍消毒機の設置は来館者に安心感を与えるものであるので、しっかりアピールしてほしい。</p> <p>◇新刊図書の展示期間を長期（1年）にして見やすくしてほしい。</p> <p>◇話題の本の展示など工夫がみられるが、おすすめ図書の展示（子ども用等）があるとよい。</p> <p>◇図書館年報の貸出利用統計表に月別の貸出利用者数や利用冊数、または月別の入館者数が掲載されると開館、休館中の状況が分かり易いので記載を望む。</p> <p>◇オンライン図書館研修への積極的な参加を。</p> <p>※書庫の保存スペース確保のために、先ず過去のベストセラーの複本除籍などの検討を期待する。</p>	<p>●初心者向け図書館ボランティア養成講座の開催。</p> <p>●ボランティア養成講座の内容の更新。</p> <p>●図書館ボランティアグループの高齢化問題に対する、新たな視点のボランティア募集方法の工夫。</p> <p>○臨時休館について、市広報・ホームページ・図書館だより・FMラジオ等、情報発信に努めており、様々な年代の方たちにとって、ふさわしい方法で情報が入る仕組みとなっている。【1とも関連】</p> <p>○コロナ感染症対策も、万全にされており、安心して利用できる環境がつけられていた。</p> <p>○新型コロナの影響で人数制限がかかる中、できることを実施して評価できる。</p> <p>○コロナ禍のため縮小しながらも、図書館まつりの開催を10月から11月、3月に変更することによって、開催したことは評価できる。</p> <p>○「子ども読書フェスティバル」の中止は残念だったが、「図書館まつり」は分散開催によって成果が上がったことを評価する。</p> <p>◇新たなボランティアの養成・スキルアップ及び読書活動の推進に向けて、引き続き尽力してほしい。</p> <p>◇子どもボランティア養成講座教室を開催してはどうか。</p> <p>◇感染症対策の図書館の臨時休館は残念だった。職員が出勤しているのなら貸出用に入場制限の上、開館してほしい。</p> <p>※豊かな交流の場として大きな役割を果たす図書館として、3密対策をはじめ様々な予防対策を講じる中で、利用方法等にかかわる制限等を設けられるのは当然のことである。</p> <p>※今後の行事開催についても、工夫しながら積極的に実施することが、新規ボランティア養成にもつながっていくことを期待する。</p> <p>※ボランティア連絡会議では、他団体の実情や悩みを知り参考になった。</p>	<p>●若い世代を巻き込んだ文化活動の実施。</p> <p>○コロナ感染症対策のため、開催できない行事があったが、開催可能となってからは、計画的に実施されたことは、評価したい。</p> <p>○防府図書館ビブリオバトルは定着しつつあり良い。これからも新規参加者を増やす工夫を。</p> <p>○地域の絆の希薄化が進む中、公立図書館の果たす役割には大きなものがあるだけに、3密回避対策を講じながら、グループ活動の奨励、施設利用等許可業務の推進に力を注がれたことは意義がある。</p> <p>○コロナ禍のため、開催できなかったイベントはあったものの、例年通り、展示コーナーなどで、月例資料展示を30回、ミニ資料展示を41回開催したことは評価できる。</p> <p>○展示は防府市立防府図書館の特色の一つ、強みであるといえるので、図書館職員の負担にならないように留意しつつ、これからも続けてほしい。</p> <p>◇月いちキネマは好評のため、今後も継続し多くの作品を上映してほしい。</p> <p>◇新型コロナ感染拡大予防のため開催できなかったイベントがあったのは残念だが、今後も定例行事等の中止や制限開催による影響について検証し、今後の工夫に活かすことを望む。</p> <p>◇図書館の場所が施設の外から分かりづらく、有料駐車場のため利用しづらい。施設の複数の入り口等への図書館の表示の設置を希望する。</p> <p>※ルルサス1階に図書館の出店、パイロットルームがあれば3階にある図書館の誘導口になると思う。</p> <p>※臨時休館に伴うサービスの提供の記述は、1に記載した。</p>

4. 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館	5. 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館	6. 子どもたちの読書活動を進めていく図書館
<p>●市内在住外国人の図書館利用促進の取組。</p> <p>●外国語・外国文化に関する職員研修の実施。</p> <p>○地域の歴史や文化を大切にされたコーナーが設けられており、定期的に改良されるなど、時代に沿った内容にされていることが伝わる。</p> <p>○大韓民国 春川市立図書館との資料交換、市民への提供も、計画的に行われたことは、防府市と春川市の良好な関係を継続するための一助となっていると感じた。</p> <p>○年間収集冊数は目標冊数の3倍近い成果をあげていることから評価を上げてよいと思う。</p> <p>○パネル展示「三哲文庫開館から80年」の実施や防府史料第70集の刊行、公開は、「A」に値する。地域の歴史や文化に係る事業を積極的に行うことは、防府市立防府図書館の特色のひとつであり、強みである。これからも地域資料の情報発信を期待する。</p> <p>○防府史料の刊行継続を評価する。</p> <p>○三哲文庫事業及び郷土資料の収集冊数も多く評価できる。</p> <p>◇地域資料収集に向けた更なる取組を期待したい。</p> <p>◇情報収集体制のさらなる確立に向けた具体的な取り組みを期待する。</p> <p>◇郷土史、郷土文学等の郷土資料関係の職員研修の実施継続を望む。</p>	<p>●学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムの活用。</p> <p>○学校図書館支援業務では、学校図書館との連携や学校司書の研修の機会を提供されており、引き続き、学校や公民館との連携を進めてほしい。</p> <p>○学校司書の取組により学校図書館の環境が大きく変わっており、引き続き支援業務をお願いしたい。</p> <p>○財団4館で、「アナザーワールド 防府でちょっと違った世界をみませんか」というテーマで同時に企画展示を実施したのは評価できる。</p> <p>○学校図書館の児童選書会のための新刊児童書の貸出サービスや留守家庭児童学級への貸出選書の代行サービスを評価する。</p> <p>○中関公民館「女性学級」の出張サービス「ビブリオバトル」を実施された。出張できる場合は、どちらにもいい刺激になる。</p> <p>○留守家庭学級への支援は、素早い対応で高く評価できる。</p> <p>○コロナ禍だからこそそのオンライン活用・留守家庭学習でのサービス等付きや支援があったと思う。</p> <p>○ギャラリートークやブラウジングコーナーの展示も積極的に行っている。</p> <p>◇中学校の選書会のための支援を検討してほしい。</p> <p>◇今後とも防府市文化振興財団の他施設との連携によるイベント実施に期待する。</p> <p>◇ネットワークシステムを進める上で、図書館をはじめ、学校等への専属職員が配置できるといいのではないかな。</p> <p>※中関公民館「女性学級」での出前講座は、図書館利用要綱の説明と「ビブリオバトル」は大変好評だった。パソコンのワードの基本図形で作る絵はパソコンサークルで実際に作成し説明文を付けて公民館のロビーに展示した。</p> <p>◎ソラールとの連携事業「すごい宿題 きみだけのひみつ」の関係資料は、書籍中心か。ワクワクするような作品、写真、立体物などを展示すると面白いのではないかなと思う。</p>	<p>○学校図書館への支援により、学校においても、より充実した運営を進めることができている。</p> <p>○例年夏休みに行われている行事が中止される中で、図書館職員によるブックトークが開催され、可能な範囲で努力されていることが伝わった。</p> <p>○図書館職員によるブックトーク実施を評価するとともに、職員養成のためにも継続できるよう工夫を望む。</p> <p>○子どもたちの読書離れが進む中、加えてコロナ禍への対応等々、子ども読書活動の持つ重要性に鑑み、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じながら諸事業の推進に力を注がれたことに感謝する。</p> <p>○新型コロナの影響が大きかったと思うが、できる範囲で工夫されていた。</p> <p>◇昨年度、小中学校の夏休み期間の短縮ために中止となったイベント等の再検討をお願いしたい。</p> <p>◇調べる学習コンクールの目的を学校と共有し、よりよい取組となるように学校と連携してほしい。</p> <p>◇昨年度からの新企画の「読書感想文教室」がコロナ禍により、開催されなかったのが、今年度は開催して欲しい。</p> <p>◇子どもたちが気軽に立ち寄れる図書館を望む。</p> <p>例えば、ルルサス1階歩道側（イオン側）に図書館のサテライトルームとしてキッズライブラリーを設置し、幼い子どもを連れた親子が気軽に立ち寄れる場所ができればよいと思う。</p> <p>※新型コロナ感染防止のための臨時休館やお話会等イベント中止は残念であったが、今後の児童サービスの工夫に活かすことを期待する。</p> <p>◎一昨年度は高校生を巻き込んだビブリオバトルをしていたが、昨年度は、コロナ禍ではあったが、高校生を巻き込んだ企画は行ったか。</p>

## 7. 障害者や高齢者に優しい図書館

- 対面朗読や郵送貸出の利用拡大に向けた方法の検討。
- 障害者・高齢者をサポートする設備や補助器具・展示本等の利活用の拡大。（来館困難な利用者への支援）
- 移動図書館車は評価する。【1 と関連】
- ボランティア団体の協力を得て、「防府市立防府図書館点字図書一覧」の点字版の作成、配布したことは評価できる。
- ◇ルルサス3階にある図書館の表示を誰にもどこからでもわかりやすく表示してほしい。（図書館南向きの窓等）【3 と関連】
- ◇障害者サービスの周知に注力することで、ボランティア育成にもつながっていくことを期待する。
- ◇高齢者サービスのための新企画の開催継続を望む。
- ◇障害者や高齢者の利用促進に向けて、関係団体の意向調査等の計画を検討してほしい。
- ◇障害者や高齢者の図書館利用の促進に向けた関係施設や関係団体と連携を図ってほしい。（防府市図書館協議会の委員に障害者や高齢者の代表者を加える等）
- ※指導者や受講者、物的な環境等を考えると難しいと思うが、図書館以外の場所で、例えば公民館講座の中に、ボランティア養成を設けられないか。
- ◎対面朗読や郵送貸出が0件ということで「C」と自己評価しているが、0件だったのはコロナ禍の影響か。

# 令和2年度防府市図書館サービス振興基本計画 実施状況評価表(案)

資料2

評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。  
 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。  
 C:不十分な点や課題が多く、計画通りに行かなかった

## 1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

(1)市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館			
R2年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>①資料収集業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「防府図書館資料収集要綱」に基づく適正な選書・収集と質・量両面の充実</li> <li>・図書購入目標冊数12,600冊。内一般9,500冊、児童3,000冊、郷土関係100冊</li> <li>・視聴覚資料購入目標点数155点。内CD130点、DVD25点</li> </ul> </li> <li>②資料分類・目録整備業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速・正確な資料の組織化(分類・目録)、装備と分かりやすいOPAC(オンライン閲覧目録)の提供</li> </ul> </li> <li>③書架管理・蔵書点検業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・書架の整理整頓、全開架資料の蔵書点検の実施(10月・3月)</li> </ul> </li> <li>④資料提供業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・正確・迅速な貸出、返却、登録、予約・リクエスト受付業務の推進</li> </ul> </li> </ul>		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度館外個人貸出者数118,979人、館外個人貸出冊数456,690冊</li> <li>①資料収集業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「防府図書館資料収集要綱」に基づいて適正な選書・収集を実施</li> <li>・図書購入冊数12,401冊。内一般8,926冊、児童3,292冊、郷土関係137冊</li> <li>・視聴覚資料購入点数155点。内CD130点、DVD25点</li> </ul> </li> <li>②資料分類・目録整備業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速・正確な資料の組織化(分類・目録)、装備と分かりやすいOPAC(オンライン閲覧目録)を提供</li> </ul> </li> <li>③書架管理・蔵書点検業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・書架の整理整頓、全開架資料の蔵書点検を実施(10月6日・7日・8日、3月2日・3日・4日)</li> <li>・閉架資料(和書)の蔵書点検を実施(4月8日～5月24日)</li> </ul> </li> <li>④資料提供業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出、返却、登録、予約・リクエスト受付業務を迅速・適正に遂行</li> <li>・臨時休館中(4月8日～5月24日)に、予約資料の貸出と予約・リクエストの受付を実施</li> <li>・書籍消毒機を設置(9月30日～)</li> </ul> </li> </ul>		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉架資料の書架(保存スペース)の確保</li> </ul>		
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館により、資料の提供が計画通りには実施できなかった</li> </ul>	評価	B
(2)老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館			
R2年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>①コンピュータシステム管理業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑な運用によるサービスの強化</li> <li>・Web上での検索・予約・貸出期間延長、読書手帳、My本棚、読書マラソン等の機能の活用</li> </ul> </li> <li>②情報発信(広報)業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの整備、充実</li> <li>・「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」の発行(月刊)、市広報「ほうふ」・防府市文化振興財団広報紙「イベントアイ」への定期的な記事の掲載、地域コミュニティーFMラジオやケーブルテレビ等の活用の推進</li> </ul> </li> <li>③図書館年報作成業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「令和元年度図書館年報」(一般用・子ども用)の発行(5月31日)</li> </ul> </li> <li>④サービス環境整備・安全対策・危機管理業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備・備品の日常点検と安全で快適な利用環境の整備、的確な状況把握と防犯管理、危機管理体制の改善と整備(定期消防訓練2回・普通救命講習会実施)</li> </ul> </li> <li>⑤利用マナー啓発業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「マナーアップキャンペーン」「グッドマナーチャレンジ」(7月1日～8月31日)の実施</li> </ul> </li> </ul>		

事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度館外個人貸出者数118,979人、館外個人貸出冊数456,690冊</li> <li>①コンピュータシステム管理業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの世代等によって異なる利用目的に適應できるサービスを展開</li> <li>・Web上での検索・予約・貸出期間延長、読書手帳、My本棚、読書マラソン等についてホームページ上で紹介</li> </ul> </li> <li>②情報発信(広報)業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの内容を随時更新</li> <li>・「ほうふ図書館だより」「ほうふとしよかんこどもしんぶん」「新刊紹介」を毎月発行、「行政関係図書紹介」を季刊で発行、市広報「ほうふ」・防府市文化振興財団広報紙「イベントアイ」へ定期的に記事を掲載、「防府市メールサービス」・防府市文化振興財団広報「メールマガジン」へ随時記事を掲載、地域コミュニティFMラジオ(FMわっしょい「防府市からのお知らせ」)に毎月第2・4木曜日に出演</li> </ul> </li> <li>③図書館年報作成業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度「図書館年報」(一般用)・「数字で見る防府図書館」(子ども用)を発行(5月31日)</li> </ul> </li> <li>④サービス環境整備・安全対策・危機管理業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備・備品の点検と修理を随時実施し、CDラックを設置(8月)、こども図書コーナーの椅子・雑誌コーナー及びブラウジングコーナーのソファ・書棚横のスツールの座面布を張り替え</li> <li>・保安・警備・防犯対策の一環として、施設管理会社との協議を毎月開催</li> <li>・図書館独自の消防避難訓練(10月8日、3月4日)を実施、ルルサス防府消防避難訓練(10月17日、3月25日)に参加</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館(4月8日～5月24日)、準備室・お話のへや等を閉鎖(5月24日～3月31日)、受付カウンターにビニール壁を設置、研修室は利用人数制限と利用目的制限(定員20名、自習での利用は不可)、インターネットコーナー・持込パソコンコーナーの利用時間制限(1時間)、DVD]コーナーの利用回数制限(1回)、座席数は半減、体表検知カメラと足踏み式消毒スタンドを設置(2月12日)</li> <li>・台風10号接近による危険回避のため臨時休館(9月7日)</li> </ul> </li> <li>⑤利用マナー啓発業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「マナーアップキャンペーン」「グッドマナーチャレンジ」は、夏休み期間の短縮を受けて中止</li> </ul> </li> </ul>		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化しつつある設備のメンテナンス</li> </ul>		
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、一部の業務が計画通りには実施できなかった</li> </ul>	評価	B
(3) 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館			
R2年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>①移動図書館車「わっしょい文庫」運行業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動図書館車「わっしょい文庫」に常時3500冊の図書を積載し、6コース37ステーションを2週間に1回の周期で巡回</li> <li>・コース、ステーション等の半年毎の見直し</li> <li>・地域イベント等に合わせた移動図書館車臨時出張サービスの実施</li> </ul> </li> </ul>		
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>①移動図書館車「わっしょい文庫」運行業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動図書館車「わっしょい文庫」に常時3500冊の図書を積載し、6コース37ステーションを2週間に1回の周期で運行</li> <li>・臨時休館中、普通乗用車で各ステーションを巡回し、予約資料の貸出、返却、予約・リクエストの受付業務を実施(5月11日～22日)</li> <li>・各コース、ステーションの利用状況を分析</li> <li>・市庁舎の建て替え工事に伴い、市役所ステーションを3月25日をもって休止</li> <li>・小学校2年生の生活科の授業において(富海・玉祖)、移動図書館車の臨時出張サービスを実施</li> </ul> </li> </ul>		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動図書館ステーションの利用度格差の拡大</li> </ul>		
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、地域イベントのほとんどが中止となり、臨時出張サービスが計画通りには実施できなかった</li> </ul>	評価	B

(4) 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館			
R2年度 事業計画	①レファレンス(調査研究相談・読書相談)業務 ・調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスの推進 ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧業務の利用促進と「レファレンス協同データベース」の活用 ・他の図書館や機関等に問い合わせたり案内したりするレフェラルサービスの推進 ・レファレンス事例集や新着図書案内・テーマ別ブックリスト・パスファインダー(テーマ別資料利用案内)等の充実 ・レファレンス研修、フロアワークの強化 ②図書館資料の複写サービス業務 ・著作権法や防府市手数料条例に基づく適正な複写サービスの実施		
事業実施 状況	①レファレンス(調査研究相談・読書相談)業務 ・調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスを実施 ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」について、ちらしやホームページで紹介するとともに、「レファレンス協同データベース」を活用してのサービスを実施 ・他の図書館や機関等に問い合わせたり案内したりするレフェラルサービスを推進 ・レファレンス事例集や新着図書案内・テーマ別ブックリスト・パスファインダー(テーマ別資料利用案内)等を作成・整備 ・利用者へのサービスをより充実させるため、レファレンス研修に参加 ②図書館資料の複写サービス業務 ・著作権法や防府市手数料条例に基づく適正な複写サービスを実施		
課題等	・職員のレファレンス対応能力の向上		
自己評価	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、対面での研修のほとんどが中止となり、職員の研修が計画通りには実施できなかった	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】
1-(1) コロナ禍下ではあったが、資料収集要綱に基づく計画通り行われており、蔵書が充実していることは評価できる。 1-(1) 開架資料と閉架資料(和書)の整理及び蔵書点検を実施したことは評価できる。 1-(1) 閉館中も予約資料の貸出や予約・リクエストの受付をするなど臨時休館中でも可能なサービスを実施したことは評価できる。 1-(2) 返却期限日のお知らせに開館日や振替休日を掲載するなどサービスへの工夫が評価できる。 1-(2) 「防府市メールサービス」や「メールマガジン」へ随時記事を掲載するなど、情報発信が増えており、様々な年代に情報が入る仕組みになっている。 1-(2) ホームページや図書館だよりなど利便性の向上を図るとともに、今後、オンライン閲覧目録等の活用に対応できない高齢者等への情報提供方法の検討が必要である。 1-(2) こども図書コーナーの新しいコーナー設置が評価できる。 1-(2) こども図書コーナーや雑誌コーナーの椅子の座面張替えなどの環境整備が評価できる。 1-(2) 新刊図書や話題の本の展示などに工夫が見られるが、展示期間の検討やおすすめ図書(子ども用等)の設置を望む。 1-(2) 書籍消毒器の設置は、来館者が安心して利用できる環境である。もっとアピールすべきである。 1-(2) 図書館年報の貸出利用統計表を月別の利用状況が分かるようにしてほしい。 1-(3) 移動図書館車の通常運行業務と、地域の実情を踏まえた臨時出張サービスの実施は、利用拡大につながっている。 1-(4) オンライン図書館研修への積極的な参加を期待する。

## 2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

(1) 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館			
R2年度事業計画	①ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務 ・第10回「防府市子ども読書フェスティバル」(5月24日)、第30回「防府図書館まつり」(10月17日)を、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催		
事業実施状況	①ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務 ・第10回「防府市子ども読書フェスティバル」は中止、第30回「防府図書館まつり」を11月1日(参加者数736人)、第30回「防府図書館まつりー展示&催しもの部」を3月14日(参加者数233人)に、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催		
課題等	・各行事の参加者数を増やす方策		
自己評価	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、イベントを計画通りには開催できなかった	評価	B
(2) 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館			
R2年度事業計画	①ボランティア活動推進業務 ・「防府図書館ボランティア連絡会議」の開催(1月) ・「図書館ボランティア養成講座」の開催(2月頃4回シリーズ)		
事業実施状況	①ボランティア活動推進業務 ・「防府図書館ボランティア連絡会議」を1月28日に開催し、現状と課題について意見交換(参加者数15人) ・「図書館ボランティア養成講座」を2月4日(参加者数8人)、2月11日(参加者数8人)、2月18日(参加者数11人)、2月25日(参加者数8人)に開催		
課題等	・新たなボランティアの養成とスキルアップ		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

### 【図書館協議会の意見(案)】

- 2-(1) 様々なコロナ感染症対策をする中で、人数制限をするなど、図書館が豊かな交流の場所として、安全に利用できるように努めているのは評価できる。
- 2-(1) イベントの開催時期の延期や縮小・分割をしながらも、「図書館まつり」が開催できたことは評価できる。
- 2-(1) 感染症対策を行っている図書館の臨時休館は残念。入場制限等を設けながらも、なるべく開館を望む。
- 2-(2) 新たなボランティアの養成・スキルアップに向けて、初心者向けの講座や子どもボランティア養成講座教室等、養成講座の内容の更新を望む。
- 2-(2) 図書館ボランティアグループの高齢化問題に対する、新たな視点からのボランティア募集方法の工夫が必要。

3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

(1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

R2年度 事業計画	①イベント・懇談会業務 ・「トークイベント」第10回「防府市子ども読書フェスティバル」(5月24日)において、詩人・絵本作家の林木林氏によるトークイベントを開催 ・「防府図書館ビブリオバトル」の開催(5月・11月・3月の3回) ・「防府図書館利用者懇談会」の開催(11月) ②資料展示・展覧会業務 ・展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター横での月例資料展示、新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示の定期的な実施 ・新聞・雑誌コーナー壁面での市民の作品展覧会の開催		
事業実施 状況	①イベント・懇談会業務 ・第10回「防府市子ども読書フェスティバル」において開催予定であった、詩人・絵本作家林木林氏によるトークイベントは中止 ・「防府図書館ビブリオバトル」は、第1回は新型コロナ感染拡大防止のため中止、第2回は11月23日(参加者数18人)、第3回は3月14日に開催した第30回「防府図書館まつりー展示&催しもの部」において実施(参加者数34人) ・「防府図書館利用者懇談会」を12月3日(参加者数13人)に開催 ・新型コロナ感染拡大防止のため、「月いちキネマ」は10月から開催 ・新型コロナ感染拡大の防止のため、「シニア向け実用講座」は中止 ②資料展示・展覧会業務 ・展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター前での月例資料展示を30回、新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示を41回実施 ・新聞・雑誌コーナー壁面での展示を7回実施		
課題等	・各行事の参加者数を増やす方策		
自己評価	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、開催できなかったイベントがあった	評価	B

(2) 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

R2年度 事業計画	①生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務 ・生涯学習グループへの機会・場・設備・資料等の提供と活動支援の推進		
事業実施 状況	①生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務 ・新型コロナ感染拡大防止のため、お話のへや・準備室の利用を禁止し、研修室は利用にあたっての人数・時間制限を設けた		
課題等	・グループ数や会員数を増やす方策		
自己評価	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、活動の支援を十分にはできなかった	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 3-(1) 新型コロナ感染症対策のため、開催できない行事があったが、開催可能となった後は計画的に実施されたことを評価する。
- 3-(1) 防府図書館ビブリオバトルと月いちキネマは、好評を得て、定着してきている企画であり、継続を望む。
- 3-(1) 展示の多さは防府図書館の特色であり、強みであり評価できる。今後も継続を望む。
- 3-(1) 生涯学習の拠点である図書館の場所が、外からわかりにくい。施設の入り口等への表示の設置を望む。
- 3-(2) 地域の絆の希薄化が進む中で図書館の役割は大きいので、3密回避対策を講じながら、グループ活動の奨励と施設利用等の許可に力を入れていることは評価できる。一方で、定例会行事の中止や制限開催による影響について検証し、今後の工夫を望む。
- 3-(2) 若い世代を巻き込んだ文化活動の実施に期待する。



4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

(1) 地域(郷土)資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

R2年度 事業計画	①地域(郷土)資料収集業務 ・地域資料、特に防府市関係資料についての、特徴的なコレクション形成の推進 ・年間郷土資料収集目標冊数450冊		
事業実施 状況	①地域(郷土)資料収集業務 ・地域資料、特に防府市関係資料について情報を収集し、多岐にわたる分野の資料を収集 ・年間郷土資料収集冊数1,185冊(購入冊数128冊、寄贈冊数1,057冊)		
課題等	・郷土資料出版情報の収集に係る体制の確立		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

(2) 地域(郷土)の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

R2年度 事業計画	①上山満之進と三哲文庫顕彰業務 ・展示室常設展示「上山満之進と三哲文庫」の展示替え ②「防府史料」刊行業務 ・防府史料第70集の刊行とホームページへの掲載(3月)		
事業実施 状況	①上山満之進と三哲文庫顕彰業務 ・展示室常設展示「上山満之進と三哲文庫」を一部展示替え ・ブラウジングコーナー壁面において、パネル展示「三哲文庫開館から80年」を実施(9月2日～10月5日) ②「防府史料」刊行業務 ・防府史料第70集『周南先生文集 初編 自一至二』(山県周南・著)を9月30日付けで刊行し、ホームページへ掲載		
課題等	・郷土史、郷土文学に関する職員研修		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

(3) 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

R2年度 事業計画	①春川市立図書館との資料交換業務 ・大韓民国春川市立図書館との資料交換と市民への提供(年1回、100冊程度交換)		
事業実施 状況	①春川市立図書館との資料交換業務 ・大韓民国春川市立図書館から寄贈された図書100冊を受贈登録し、春川市立図書館へ図書100冊を寄贈		
課題等	・外国語、外国文化に関する職員研修		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

**【図書館協議会の意見(案)】**

- 4-(1) 郷土資料の年間収集冊数が目標の3倍近い成果を上げており、評価できる。
- 4-(1) 郷土資料情報の収集体制の更なる確立に期待する。
- 4-(1) 地域の歴史や文化を大切にされたコーナーが設置され、定期的に改良され、時代に沿った内容になっていることは評価できる。
- 4-(2) パネル展示「三哲文庫開館から80年」の実施や継続している防府史料の刊行は評価できる。これからも地域資料の情報発信を期待する。
- 4-(2) 郷土史、郷土文学等の郷土資料に関する職員研修の実施の継続を望む。
- 4-(3) 大韓民国春川市立図書館との資料交換及び市民への提供が計画的に行われていることは評価できる。
- 4-(3) 外国語・外国文化に関する職員研修が必要である。
- 4-(3) 市内在住外国人の図書館利用の拡大に向けた取組を検討する必要がある。

5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

(1) 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

R2年度 事業計画	①学校図書館支援業務 ・学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書の利用促進 ・学校司書の研修の機会や場の提供 ②「地域文庫」・団体貸出業務 ・地域文庫・貸出文庫の利用促進		
事業実施 状況	①学校図書館支援業務 ・学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書貸出(件数332件・冊数2,883冊) ・学校司書の研修の機会や場を随時提供 ・小学校(6校)で開催された選書会のためのリスト作成と新刊図書貸出 ②「地域文庫」・団体貸出業務 ・地域文庫・貸出文庫を運営 ・新型コロナ感染拡大防止のため、留守家庭学級を対象に、貸出のための選書を職員が代行するサービスを実施(4月13日～) ・中関公民館「女性学級」に職員を派遣し、図書館の利用案内と「ビブリオバトル」を開催する出張サービスを実施		
課題等	・学校図書館とのネットワークシステムの有効活用		
自己評価	概ね計画通り実施できた	評価	B

(2) 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

R2年度 事業計画	①他の図書館や文書館・博物館・美術館との連携業務 ・他の図書館との資料相互貸借・レファレンス協力・合同研修等の推進 ・文書館・博物館・美術館との連携強化 ②防府市文化振興財団内連携業務 ・財団内連携推進会議の開催(毎月1回) ・文化事業との連携推進 ・科学事業との連携推進 ・山頭火ふるさと館との連携推進		
事業実施 状況	①他の図書館や文書館・博物館・美術館との連携業務 ・県内外の図書館との資料相互貸借(貸出1,069冊・借用713冊)・レファレンス協力・合同研修等を実施 ・文書館・博物館とネットワークを通じてMLA連携 ②防府市文化振興財団内連携業務 ・財団内連携推進会議を随時開催し、連携事業について検討・協議 ・財団4館の連携として、「アナザーワールド 防府でちょっと違った世界を見てみませんか」と題して、各館それぞれに企画展を開催するとともに、4館をめぐるスタンプラリーを開催(10月17日～12月20日) ・文化事業との連携として、公会堂のリニューアルオープンに合わせて関連資料を展示 ・科学事業との連携として、ソラール「へんしん! 錯覚立体展」・「国際周期表年特別展」・「すごい宿題 きみだけのひみつ」に合わせて関連資料を展示 ・山頭火ふるさと館との連携として、山頭火の「今月の一句」と解説の展示、自由律俳句大会のための投句箱を設置		
課題等	県内外の図書館等との連携強化		

	自己評価 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、財団内連携業務が計画通りにはできなかった	評価	B
--	---	----	---

【図書館協議会の意見(案)】

- 5-(1) 学校図書館との連携や学校司書の研修の場を提供しており、学校図書館の環境が大きく変わってきたことは評価できる。引き続き支援を望む。
- 5-(1) 学校への児童選書会のための新刊貸出サービスや留守家庭児童学級への貸出選書の代行サービス等は、ネットワークの活用やサービス等の素早い支援であり評価できる。今後も拡大を期待する。
- 5-(1) 公民館との連携業務として、出張サービスを実施されており評価できる。
- 5-(1) ネットワークシステムを進める上で、学校図書館への職員の配置を望む。
- 5-(2) 防府市文化振興財団内4館において、同じテーマの下で行うブラウジングコーナーでの企画展示やギャラリートークも積極的にしており、評価できる。今後もこのようなイベントを期待する。

## 6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館

### (1) 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

R2年度 事業計画	①子ども読書活動推進業務 ・「子ども図書館員」の開催(7月、8月に1回ずつ) ・「第8回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の防府市教育委員会との共催 ・「調べる学習にチャレンジ」(7月、8月に1回ずつ) ・「読書感想文教室」の開催(7月～8月) ・「おはなし会」の開催(家庭の日・クリスマス) ・職場体験・図書館見学等の奨励 ・公共施設・商業施設等での出前講座・出張イベント等の開催		
事業実施 状況	①子ども読書活動推進業務 ・小中学校の夏休み期間短縮にともない、「子ども図書館員」は中止 ・「第8回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」を防府市教育委員会と共催(応募作品数: 小学生3点・中学生1点) ・小中学校の夏休み期間短縮にともない、「チャレンジ!調べる学習」は中止 ・小中学校の夏休み期間短縮にともない、「読書感想文教室」は中止 ・新型コロナ感染拡大防止のため、毎月第3日曜日の家庭の日に開催する「さんさんおはなし会」は 9月から開催 ・「クリスマスおはなし会」を12月20日(参加者数26人)に開催 ・職場体験・図書館見学等を受入(職場体験:6件7人、図書館見学:9件718人) ・「子ども家庭支援センター”海北”」に出張(11月20日)して絵本の読み聞かせを実施		
課題等	・調べる学習コンクールへの出品者数を増やす方策		
自己評価	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、開催できなかったイベントがあつた	評価	B

### (2) 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

R2年度 事業計画	①ボランティアとの連携・協働業務 ・ボランティアとの連携・協働の推進 ・ボランティア主催行事・研修等における図書館職員のブックトーク等の実施		
事業実施 状況	①ボランティアとの連携・協働業務 ・ボランティアとの連携・協働について関係者と随時情報交換 ・「おはなしでんしゃ」のおはなし会(10月14日・1月27日・3月10日)、「かすが文庫」のおはなし会(6 月25日・9月17日・11月30日)、「利用者・サークル連絡会」の研修会(7月9日・9月24日・2月3日)、 「学校図書ボランティアネット・防府」の研修会(8月24日・1月14日)において、図書館職員によるブ ックトーク等を実施		
課題等	・ボランティアとの協働事業の推進		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

#### 【図書館協議会の意見(案)】

- 6-(1) 学校図書館への支援により、充実した学校図書館運営ができているので評価できる。
- 6-(1) 新型コロナウイルスの感染予防対策を講じながらも、可能な範囲で行った子ども読書活動が評価できる。
- 6-(1) 夏休み短縮等により中止になったイベント等の再開を検討してほしい。
- 6-(1) 調べる学習コンクールは、よりよい取組になるよう、学校と目的の共有を図るなど連携をしてほしい。
- 6-(2) 例年の夏休み行事が中止される中で、図書館職員のブックトーク実施は評価できる。職員の養成のためにも継続を望む。

## 7 障害者や高齢者に優しい図書館

### (1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館

R2年度 事業計画	①障害者・高齢者への資料・情報提供サービス業務 ・点字本・大活字本・音声資料等の整備・充実 ・視覚障害者用音声付インターネットサービス利用の促進		
事業実施 状況	①障害者・高齢者への資料・情報提供サービス業務 ・点字本・大活字本・音声資料等を収集・整備 ・視覚障害者用音声付インターネットサービスについて、リーフレットやホームページ上で紹介 ・ボランティア団体「防府点訳青い鳥の会」の協力を得て、「防府市立防府図書館点字図書一覧」の点字版を作成・配付		
課題等	・障害者や高齢者の図書館利用促進		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

### (2) 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館

R2年度 事業計画	①対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等の業務 ・対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等のサービスの推進		
事業実施 状況	①対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等の業務 ・対面朗読(0件)・郵送貸出(0件)		
課題等	・障害者や高齢者のためのサービスの周知		
自己評価	対面朗読や郵送貸出の利用がなかった	評価	C

### (3) 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

R2年度 事業計画	①障害のある利用者のためのボランティア活動支援業務 ・ボランティア活動への支援 ・ボランティアによる施設・設備・資料等の活用の促進		
事業実施 状況	①障害のある利用者のためのボランティア活動支援業務 ・ボランティア活動への支援として、ホームページ上での会員募集を実施 ・ボランティアへの施設・設備・資料等の提供		
課題等	・次世代を担うボランティアの育成		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

#### 【図書館協議会の意見(案)】

- 7-(1) 来館困難な利用者に対する移動図書館車を評価する。
- 7-(1) ボランティア団体の協力を得て、「防府市立防府図書館点字図書一覧」の点字版を作成、配布をしたことは評価できる。
- 7-(1) 高齢者サービスのための新企画の継続を望む。
- 7-(1) 障害者・高齢者をサポートする設備や補助器具・展示本等の利活用の拡大を望む。
- 7-(2) 対面朗読や郵送貸出の利活用拡大に向けた方法の検討をしてほしい。
- 7-(3) 図書館以外での図書館ボランティア養成講座を考えてはどうか。
- 7-(3) 障害者サービスの周知への注力がボランティアの育成にもつながることを期待する。

# 令和2年度防府市図書館サービス振興基本計画 実施状況評価表

資料3

評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。  
 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。  
 C:不十分な点や課題が多く、計画通りに行かなかった

## 1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

### (1) 市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館

R2年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>①資料収集業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「防府図書館資料収集要綱」に基づく適正な選書・収集と質・量両面の充実</li> <li>・図書購入目標冊数12,600冊。内一般9,500冊、児童3,000冊、郷土関係100冊</li> <li>・視聴覚資料購入目標点数155点。内CD130点、DVD25点</li> </ul> </li> <li>②資料分類・目録整備業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速・正確な資料の組織化(分類・目録)、装備と分かりやすいOPAC(オンライン閲覧目録)の提供</li> </ul> </li> <li>③書架管理・蔵書点検業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・書架の整理整頓、全開架資料の蔵書点検の実施(10月・3月)</li> </ul> </li> <li>④資料提供業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・正確・迅速な貸出、返却、登録、予約・リクエスト受付業務の推進</li> </ul> </li> </ul>
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度館外個人貸出者数118,979人、館外個人貸出冊数456,690冊</li> <li>①資料収集業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「防府図書館資料収集要綱」に基づいて適正な選書・収集を実施</li> <li>・図書購入冊数12,401冊。内一般8,926冊、児童3,292冊、郷土関係137冊</li> <li>・視聴覚資料購入点数155点。内CD130点、DVD25点</li> </ul> </li> <li>②資料分類・目録整備業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速・正確な資料の組織化(分類・目録)、装備と分かりやすいOPAC(オンライン閲覧目録)を提供</li> </ul> </li> <li>③書架管理・蔵書点検業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・書架の整理整頓、全開架資料の蔵書点検を実施(10月6日・7日・8日、3月2日・3日・4日)</li> <li>・閉架資料(和書)の蔵書点検を実施(4月8日～5月24日)</li> </ul> </li> <li>④資料提供業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出、返却、登録、予約・リクエスト受付業務を迅速・適正に遂行</li> <li>・臨時休館中(4月8日～5月24日)に、予約資料の貸出と予約・リクエストの受付を実施</li> <li>・書籍消毒機を設置(9月30日～)</li> </ul> </li> </ul>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉架資料の書架(保存スペース)の確保</li> </ul>
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館により、資料の提供が計画通りには実施できなかった</li> </ul>
評価	B

### (2) 老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館

R2年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>①コンピュータシステム管理業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑な運用によるサービスの強化</li> <li>・Web上での検索・予約・貸出期間延長、読書手帳、My本棚、読書マラソン等の機能の活用</li> </ul> </li> <li>②情報発信(広報)業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの整備、充実</li> <li>・「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」の発行(月刊)、市広報「ほうふ」・防府市文化振興財団広報紙「イベントアイ」への定期的な記事の掲載、地域コミュニティーFMラジオやケーブルテレビ等の活用の推進</li> </ul> </li> <li>③図書館年報作成業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「令和元年度図書館年報」(一般用・子ども用)の発行(5月31日)</li> </ul> </li> <li>④サービス環境整備・安全対策・危機管理業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備・備品の日常点検と安全で快適な利用環境の整備、的確な状況把握と防犯管理、危機管理体制の改善と整備(定期消防訓練2回・普通救命講習会実施)</li> </ul> </li> <li>⑤利用マナー啓発業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「マナーアップキャンペーン」「グッドマナーチャレンジ」(7月1日～8月31日)の実施</li> </ul> </li> </ul>
--------------	--

事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度館外個人貸出者数118,979人、館外個人貸出冊数456,690冊</li> <li>①コンピュータシステム管理業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの世代等によって異なる利用目的に適應できるサービスを展開</li> <li>・Web上での検索・予約・貸出期間延長、読書手帳、My本棚、読書マラソン等についてホームページ上で紹介</li> </ul> </li> <li>②情報発信(広報)業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの内容を随時更新</li> <li>・「ほうふ図書館だより」「ほうふとしよかんこどもしんぶん」「新刊紹介」を毎月発行、「行政関係図書紹介」を季刊で発行、市広報「ほうふ」・防府市文化振興財団広報紙「イベントアイ」へ定期的に記事を掲載、「防府市メールサービス」・防府市文化振興財団広報「メールマガジン」へ随時記事を掲載、地域コミュニティFMラジオ(FMわっしょい「防府市からのお知らせ」)に毎月第2・4木曜日に出演</li> </ul> </li> <li>③図書館年報作成業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度「図書館年報」(一般用)・「数字で見る防府図書館」(子ども用)を発行(5月31日)</li> </ul> </li> <li>④サービス環境整備・安全対策・危機管理業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備・備品の点検と修理を随時実施し、CDラックを設置(8月)、こども図書コーナーの椅子・雑誌コーナー及びブラウジングコーナーのソファ・書棚横のスツールの座面布を張り替え</li> <li>・保安・警備・防犯対策の一環として、施設管理会社との協議を毎月開催</li> <li>・図書館独自の消防避難訓練(10月8日、3月4日)を実施、ルルサス防府消防避難訓練(10月17日、3月25日)に参加</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館(4月8日～5月24日)、準備室・お話のへや等を閉鎖(5月24日～3月31日)、受付カウンターにビニール壁を設置、研修室は利用人数制限と利用目的制限(定員20名、自習での利用は不可)、インターネットコーナー・持込パソコンコーナーの利用時間制限(1時間)、DVD]コーナーの利用回数制限(1回)、座席数は半減、体表検知カメラと足踏み式消毒スタンドを設置(2月12日)</li> <li>・台風10号接近による危険回避のため臨時休館(9月7日)</li> </ul> </li> <li>⑤利用マナー啓発業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「マナーアップキャンペーン」「グッドマナーチャレンジ」は、夏休み期間の短縮を受けて中止</li> </ul> </li> </ul>		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化しつつある設備のメンテナンス</li> </ul>		
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、一部の業務が計画通りには実施できなかった</li> </ul>	評価	B
(3) 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館			
R2年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>①移動図書館車「わっしょい文庫」運行業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動図書館車「わっしょい文庫」に常時3500冊の図書を積載し、6コース37ステーションを2週間に1回の周期で巡回</li> <li>・コース、ステーション等の半年毎の見直し</li> <li>・地域イベント等に合わせた移動図書館車臨時出張サービスの実施</li> </ul> </li> </ul>		
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>①移動図書館車「わっしょい文庫」運行業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動図書館車「わっしょい文庫」に常時3500冊の図書を積載し、6コース37ステーションを2週間に1回の周期で運行</li> <li>・臨時休館中、普通乗用車で各ステーションを巡回し、予約資料の貸出、返却、予約・リクエストの受付業務を実施(5月11日～22日)</li> <li>・各コース、ステーションの利用状況を分析</li> <li>・市庁舎の建て替え工事に伴い、市役所ステーションを3月25日をもって休止</li> <li>・小学校2年生の生活科の授業において(富海・玉祖)、移動図書館車の臨時出張サービスを実施</li> </ul> </li> </ul>		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動図書館ステーションの利用度格差の拡大</li> </ul>		
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、地域イベントのほとんどが中止となり、臨時出張サービスが計画通りには実施できなかった</li> </ul>	評価	B



(4) 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館			
R2年度 事業計画	①レファレンス(調査研究相談・読書相談)業務 ・調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスの推進 ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧業務の利用促進と「レファレンス協同データベース」の活用 ・他の図書館や機関等に問い合わせたり案内したりするレフェラルサービスの推進 ・レファレンス事例集や新着図書案内・テーマ別ブックリスト・パスファインダー(テーマ別資料利用案内)等の充実 ・レファレンス研修、フロアワークの強化 ②図書館資料の複写サービス業務 ・著作権法や防府市手数料条例に基づく適正な複写サービスの実施		
事業実施 状況	①レファレンス(調査研究相談・読書相談)業務 ・調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスを実施 ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」について、ちらしやホームページで紹介するとともに、「レファレンス協同データベース」を活用してのサービスを実施 ・他の図書館や機関等に問い合わせたり案内したりするレフェラルサービスを推進 ・レファレンス事例集や新着図書案内・テーマ別ブックリスト・パスファインダー(テーマ別資料利用案内)等を作成・整備 ・利用者へのサービスをより充実させるため、レファレンス研修に参加 ②図書館資料の複写サービス業務 ・著作権法や防府市手数料条例に基づく適正な複写サービスを実施		
課題等	・職員のレファレンス対応能力の向上		
自己評価	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、対面での研修のほとんどが中止となり、職員の研修が計画通りには実施できなかった	評価	B

【図書館協議会の意見】
1-(1) コロナ禍下ではあったが、資料収集要綱に基づく計画通り行われており、蔵書が充実していることは評価できる。 1-(1) 開架資料と閉架資料(和書)の整理及び蔵書点検を実施したことは評価できる。 1-(1) 閉館中も予約資料の貸出や予約・リクエストの受付をするなど臨時休館中でも可能なサービスを実施したことは評価できる。 1-(2) 返却期限日のお知らせに開館日や振替休日を掲載するなどサービスへの工夫が評価できる。 1-(2) 「防府市メールサービス」や「メールマガジン」へ随時記事を掲載するなど、情報発信が増えており、様々な年代に情報が入る仕組みになっている。 1-(2) ホームページや図書館だよりなど利便性の向上を図るとともに、今後、オンライン閲覧目録等の活用に対応できない高齢者等への情報提供方法の検討が必要である。 1-(2) こども図書コーナーの新しいコーナー設置が評価できる。 1-(2) こども図書コーナーや雑誌コーナーの椅子の座面張替えなどの環境整備が評価できる。 1-(2) 新刊図書や話題の本の展示などに工夫が見られるが、展示期間の検討やおすすめ図書(子ども用等)の設置を望む。 1-(2) 書籍消毒器の設置は、来館者が安心して利用できる環境である。もっとアピールすべきである。 1-(2) 図書館年報の貸出利用統計表を月別の利用状況が分かるようにしてほしい。 1-(3) 移動図書館車の通常運行業務と、地域の実情を踏まえた臨時出張サービスの実施は、利用拡大につながっている。 1-(4) オンライン図書館研修への積極的な参加を期待する。

## 2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

(1) 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館			
R2年度事業計画	①ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務 ・第10回「防府市子ども読書フェスティバル」(5月24日)、第30回「防府図書館まつり」(10月17日)を、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催		
事業実施状況	①ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務 ・第10回「防府市子ども読書フェスティバル」は中止、第30回「防府図書館まつり」を11月1日(参加者数736人)、第30回「防府図書館まつりー展示&催しもの部」を3月14日(参加者数233人)に、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催		
課題等	・各行事の参加者数を増やす方策		
自己評価	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、イベントを計画通りには開催できなかった	評価	B
(2) 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館			
R2年度事業計画	①ボランティア活動推進業務 ・「防府図書館ボランティア連絡会議」の開催(1月) ・「図書館ボランティア養成講座」の開催(2月頃4回シリーズ)		
事業実施状況	①ボランティア活動推進業務 ・「防府図書館ボランティア連絡会議」を1月28日に開催し、現状と課題について意見交換(参加者数15人) ・「図書館ボランティア養成講座」を2月4日(参加者数8人)、2月11日(参加者数8人)、2月18日(参加者数11人)、2月25日(参加者数8人)に開催		
課題等	・新たなボランティアの養成とスキルアップ		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

### 【図書館協議会の意見】

- 2-(1) 様々なコロナ感染症対策をする中で、人数制限をするなど、図書館が豊かな交流の場所として、安全に利用できるように努めているのは評価できる。
- 2-(1) イベントの開催時期の延期や縮小・分割をしながらも、「図書館まつり」が開催できたことは評価できる。
- 2-(1) 感染症対策を行っている図書館の臨時休館は残念。入場制限等を設けながらも、なるべく開館を望む。
- 2-(2) 新たなボランティアの養成・スキルアップに向けて、初心者向けの講座や子どもボランティア養成講座教室等、養成講座の内容の更新を望む。
- 2-(2) 図書館ボランティアグループの高齢化問題に対する、新たな視点からのボランティア募集方法の工夫が必要。

3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

(1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

R2年度 事業計画	①イベント・懇談会業務 ・「トークイベント」第10回「防府市子ども読書フェスティバル」(5月24日)において、詩人・絵本作家の林木林氏によるトークイベントを開催 ・「防府図書館ビブリオバトル」の開催(5月・11月・3月の3回) ・「防府図書館利用者懇談会」の開催(11月) ②資料展示・展覧会業務 ・展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター横での月例資料展示、新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示の定期的な実施 ・新聞・雑誌コーナー壁面での市民の作品展覧会の開催		
事業実施 状況	①イベント・懇談会業務 ・第10回「防府市子ども読書フェスティバル」において開催予定であった、詩人・絵本作家林木林氏によるトークイベントは中止 ・「防府図書館ビブリオバトル」は、第1回は新型コロナ感染拡大防止のため中止、第2回は11月23日(参加者数18人)、第3回は3月14日に開催した第30回「防府図書館まつりー展示&催しもの部」において実施(参加者数34人) ・「防府図書館利用者懇談会」を12月3日(参加者数13人)に開催 ・新型コロナ感染拡大防止のため、「月いちキネマ」は10月から開催 ・新型コロナ感染拡大の防止のため、「シニア向け実用講座」は中止 ②資料展示・展覧会業務 ・展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター前での月例資料展示を30回、新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示を41回実施 ・新聞・雑誌コーナー壁面での展示を7回実施		
課題等	・各行事の参加者数を増やす方策		
自己評価	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、開催できなかったイベントがあった	評価	B

(2) 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

R2年度 事業計画	①生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務 ・生涯学習グループへの機会・場・設備・資料等の提供と活動支援の推進		
事業実施 状況	①生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務 ・新型コロナ感染拡大防止のため、お話のへや・準備室の利用を禁止し、研修室は利用にあたっての人数・時間制限を設けた		
課題等	・グループ数や会員数を増やす方策		
自己評価	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、活動の支援を十分にはできなかった	評価	B

【図書館協議会の意見】

- 3-(1) 新型コロナ感染症対策のため、開催できない行事があったが、開催可能となった後は計画的に実施されたことを評価する。
- 3-(1) 防府図書館ビブリオバトルと月いちキネマは、好評を得て、定着してきている企画であり、継続を望む。
- 3-(1) 展示の多さは防府図書館の特色であり、強みであり評価できる。今後も継続を望む。
- 3-(1) 生涯学習の拠点である図書館の場所が、外からわかりにくい。施設の入り口等への表示の設置を望む。
- 3-(2) 地域の絆の希薄化が進む中で図書館の役割は大きいので、3密回避対策を講じながら、グループ活動の奨励と施設利用等の許可に力を入れていることは評価できる。一方で、定例会行事の中止や制限開催による影響について検証し、今後の工夫を望む。
- 3-(2) 若い世代を巻き込んだ文化活動の実施に期待する。

4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

(1) 地域(郷土)資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

R2年度 事業計画	①地域(郷土)資料収集業務 ・地域資料、特に防府市関係資料についての、特徴的なコレクション形成の推進 ・年間郷土資料収集目標冊数450冊		
事業実施 状況	①地域(郷土)資料収集業務 ・地域資料、特に防府市関係資料について情報を収集し、多岐にわたる分野の資料を収集 ・年間郷土資料収集冊数1,185冊(購入冊数128冊、寄贈冊数1,057冊)		
課題等	・郷土資料出版情報の収集に係る体制の確立		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

(2) 地域(郷土)の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

R2年度 事業計画	①上山満之進と三哲文庫顕彰業務 ・展示室常設展示「上山満之進と三哲文庫」の展示替え ②「防府史料」刊行業務 ・防府史料第70集の刊行とホームページへの掲載(3月)		
事業実施 状況	①上山満之進と三哲文庫顕彰業務 ・展示室常設展示「上山満之進と三哲文庫」を一部展示替え ・ブラウジングコーナー壁面において、パネル展示「三哲文庫開館から80年」を実施(9月2日～10月5日) ②「防府史料」刊行業務 ・防府史料第70集『周南先生文集 初編 自一至二』(山県周南・著)を9月30日付けで刊行し、ホームページへ掲載		
課題等	・郷土史、郷土文学に関する職員研修		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

(3) 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

R2年度 事業計画	①春川市立図書館との資料交換業務 ・大韓民国春川市立図書館との資料交換と市民への提供(年1回、100冊程度交換)		
事業実施 状況	①春川市立図書館との資料交換業務 ・大韓民国春川市立図書館から寄贈された図書100冊を受贈登録し、春川市立図書館へ図書100冊を寄贈		
課題等	・外国語、外国文化に関する職員研修		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

**【図書館協議会の意見】**

- 4-(1) 郷土資料の年間収集冊数が目標の3倍近い成果を上げており、評価できる。
- 4-(1) 郷土資料情報の収集体制の更なる確立に期待する。
- 4-(1) 地域の歴史や文化を大切にされたコーナーが設置され、定期的に改良され、時代に沿った内容になっていることは評価できる。
- 4-(2) パネル展示「三哲文庫開館から80年」の実施や継続している防府史料の刊行は評価できる。これからも地域資料の情報発信を期待する。
- 4-(2) 郷土史、郷土文学等の郷土資料に関する職員研修の実施の継続を望む。
- 4-(3) 大韓民国春川市立図書館との資料交換及び市民への提供が計画的に行われていることは評価できる。
- 4-(3) 外国語・外国文化に関する職員研修が必要である。
- 4-(3) 市内在住外国人の図書館利用の拡大に向けた取組を検討する必要がある。

5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

(1) 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

R2年度 事業計画	①学校図書館支援業務 ・学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書の利用促進 ・学校司書の研修の機会や場の提供 ②「地域文庫」・団体貸出業務 ・地域文庫・貸出文庫の利用促進		
事業実施 状況	①学校図書館支援業務 ・学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書貸出(件数332件・冊数2,883冊) ・学校司書の研修の機会や場を随時提供 ・小学校(6校)で開催された選書会のためのリスト作成と新刊図書貸出 ②「地域文庫」・団体貸出業務 ・地域文庫・貸出文庫を運営 ・新型コロナ感染拡大防止のため、留守家庭学級を対象に、貸出のための選書を職員が代行するサービスを実施(4月13日～) ・中関公民館「女性学級」に職員を派遣し、図書館の利用案内と「ビブリオバトル」を開催する出張サービスを実施		
課題等	・学校図書館とのネットワークシステムの有効活用		
自己評価	概ね計画通り実施できた	評価	B

(2) 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

R2年度 事業計画	①他の図書館や文書館・博物館・美術館との連携業務 ・他の図書館との資料相互貸借・レファレンス協力・合同研修等の推進 ・文書館・博物館・美術館との連携強化 ②防府市文化振興財団内連携業務 ・財団内連携推進会議の開催(毎月1回) ・文化事業との連携推進 ・科学事業との連携推進 ・山頭火ふるさと館との連携推進		
事業実施 状況	①他の図書館や文書館・博物館・美術館との連携業務 ・県内外の図書館との資料相互貸借(貸出1,069冊・借用713冊)・レファレンス協力・合同研修等を実施 ・文書館・博物館とネットワークを通じてMLA連携 ②防府市文化振興財団内連携業務 ・財団内連携推進会議を随時開催し、連携事業について検討・協議 ・財団4館の連携として、「アナザーワールド 防府でちょっと違った世界を見てみませんか」と題して、各館それぞれに企画展を開催するとともに、4館をめぐるスタンプラリーを開催(10月17日～12月20日) ・文化事業との連携として、公会堂のリニューアルオープンに合わせて関連資料を展示 ・科学事業との連携として、ソラール「へんしん! 錯覚立体展」・「国際周期表年特別展」・「すごい宿題 きみだけのひみつ」に合わせて関連資料を展示 ・山頭火ふるさと館との連携として、山頭火の「今月の一句」と解説の展示、自由律俳句大会のための投句箱を設置		
課題等	県内外の図書館等との連携強化		

	自己評価 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、財団内連携業務が計画通りにはできなかった	評価	B
--	---	----	---

<p><b>【図書館協議会の意見】</b></p> <p>5-(1) 学校図書館との連携や学校司書の研修の場を提供しており、学校図書館の環境が大きく変わってきたことは評価できる。引き続き支援を望む。</p> <p>5-(1) 学校への児童選書会のための新刊貸出サービスや留守家庭児童学級への貸出選書の代行サービス等は、ネットワークの活用やサービス等の素早い支援であり評価できる。今後も拡大を期待する。</p> <p>5-(1) 公民館との連携業務として、出張サービスを実施されており評価できる。</p> <p>5-(1) ネットワークシステムを進める上で、学校図書館への職員の配置を望む。</p> <p>5-(2) 防府市文化振興財団内4館において、同じテーマの下で行うブラウジングコーナーでの企画展示やギャラリートークも積極的にしており、評価できる。今後もこのようなイベントを期待する。</p>
--

## 6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館

### (1) 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

R2年度 事業計画	①子ども読書活動推進業務 ・「子ども図書館員」の開催(7月、8月に1回ずつ) ・「第8回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の防府市教育委員会との共催 ・「調べる学習にチャレンジ」(7月、8月に1回ずつ) ・「読書感想文教室」の開催(7月～8月) ・「おはなし会」の開催(家庭の日・クリスマス) ・職場体験・図書館見学等の奨励 ・公共施設・商業施設等での出前講座・出張イベント等の開催		
事業実施 状況	①子ども読書活動推進業務 ・小中学校の夏休み期間短縮にともない、「子ども図書館員」は中止 ・「第8回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」を防府市教育委員会と共催(応募作品数: 小学生3点・中学生1点) ・小中学校の夏休み期間短縮にともない、「チャレンジ!調べる学習」は中止 ・小中学校の夏休み期間短縮にともない、「読書感想文教室」は中止 ・新型コロナ感染拡大防止のため、毎月第3日曜日の家庭の日に開催する「さんさんおはなし会」は 9月から開催 ・「クリスマスおはなし会」を12月20日(参加者数26人)に開催 ・職場体験・図書館見学等を受入(職場体験:6件7人、図書館見学:9件718人) ・「子ども家庭支援センター”海北”」に出張(11月20日)して絵本の読み聞かせを実施		
課題等	・調べる学習コンクールへの出品者数を増やす方策		
自己評価	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、開催できなかったイベントがあつた	評価	B

### (2) 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

R2年度 事業計画	①ボランティアとの連携・協働業務 ・ボランティアとの連携・協働の推進 ・ボランティア主催行事・研修等における図書館職員のブックトーク等の実施		
事業実施 状況	①ボランティアとの連携・協働業務 ・ボランティアとの連携・協働について関係者と随時情報交換 ・「おはなしでんしゃ」のおはなし会(10月14日・1月27日・3月10日)、「かすが文庫」のおはなし会(6 月25日・9月17日・11月30日)、「利用者・サークル連絡会」の研修会(7月9日・9月24日・2月3日)、 「学校図書ボランティアネット・防府」の研修会(8月24日・1月14日)において、図書館職員によるブ ックトーク等を実施		
課題等	・ボランティアとの協働事業の推進		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

#### 【図書館協議会の意見】

- 6-(1) 学校図書館への支援により、充実した学校図書館運営ができているので評価できる。
- 6-(1) 新型コロナウイルスの感染予防対策を講じながらも、可能な範囲で行った子ども読書活動が評価できる。
- 6-(1) 夏休み短縮等により中止になったイベント等の再開を検討してほしい。
- 6-(1) 調べる学習コンクールは、よりよい取組になるよう、学校と目的の共有を図るなど連携をしてほしい。
- 6-(2) 例年の夏休み行事が中止される中で、図書館職員のブックトーク実施は評価できる。職員の養成のためにも継続を望む。



## 7 障害者や高齢者に優しい図書館

### (1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館

R2年度 事業計画	①障害者・高齢者への資料・情報提供サービス業務 ・点字本・大活字本・音声資料等の整備・充実 ・視覚障害者用音声付インターネットサービス利用の促進		
事業実施 状況	①障害者・高齢者への資料・情報提供サービス業務 ・点字本・大活字本・音声資料等を収集・整備 ・視覚障害者用音声付インターネットサービスについて、リーフレットやホームページ上で紹介 ・ボランティア団体「防府点訳青い鳥の会」の協力を得て、「防府市立防府図書館点字図書一覧」の点字版を作成・配付		
課題等	・障害者や高齢者の図書館利用促進		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

### (2) 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館

R2年度 事業計画	①対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等の業務 ・対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等のサービスの推進		
事業実施 状況	①対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等の業務 ・対面朗読(0件)・郵送貸出(0件)		
課題等	・障害者や高齢者のためのサービスの周知		
自己評価	対面朗読や郵送貸出の利用がなかった	評価	C

### (3) 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

R2年度 事業計画	①障害のある利用者のためのボランティア活動支援業務 ・ボランティア活動への支援 ・ボランティアによる施設・設備・資料等の活用の促進		
事業実施 状況	①障害のある利用者のためのボランティア活動支援業務 ・ボランティア活動への支援として、ホームページ上での会員募集を実施 ・ボランティアへの施設・設備・資料等の提供		
課題等	・次世代を担うボランティアの育成		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

#### 【図書館協議会の意見】

- 7-(1) 来館困難な利用者に対する移動図書館車を評価する。
- 7-(1) ボランティア団体の協力を得て、「防府市立防府図書館点字図書一覧」の点字版を作成、配布をしたことは評価できる。
- 7-(1) 高齢者サービスのための新企画の継続を望む。
- 7-(1) 障害者・高齢者をサポートする設備や補助器具・展示本等の利活用の拡大を望む。
- 7-(2) 対面朗読や郵送貸出の利活用拡大に向けた方法の検討をしてほしい。
- 7-(3) 図書館以外での図書館ボランティア養成講座を考えてはどうか。
- 7-(3) 障害者サービスの周知への注力がボランティアの育成にもつながることを期待する。